

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		登録制置場等運営			整理番号	593		枝番号					
担当部課名		都市整備部交通対策課		コード	221301		連絡先電話番号	3555		昨年度整理番号	617		
係名				自転車対策係				上位施策名		No			
予算事業名				自転車駐車場等維持運営		コード	56250		自転車問題の解決		7		
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		60年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律 (2) 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例 (3) 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例施行規則						
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他								
	登録制自転車置場等の利用者												
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				道路等上に暫定的に設置している登録制自転車置場等の運営(利用登録の申請受付・審査、登録証の発行、置場整理員の配置)								
活動指標名(式)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 通勤・通学で駅に乗り入れる自転車を登録制自転車置場等に収容し、放置自転車を防止する。									
成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標				(1) 登録制自転車置場等の設置駅での自転車放置率(置場外自転車台数 ÷ 駅乗り入れ自転車台数) (2)									
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値	目標値に対する15年度の達成率%				
					計画	実績		年度					
指標	活動指標(1)		台	7,942	7,449	7,560	7,436	3,830					
	活動指標(2)												
	成果指標(1)		%	24.42	22.82		22.89						
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	43,089	32,183	49,733	37,500	17,506	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)				
	(内)委託費		千円	933	2,396	20,323	8,781	719					
	職員数(正規 非常勤)		人	3.86	3.61	3.64	3.76	2.70					
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	34,717	32,468	32,738	33,817	24,284					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 + +		千円	77,806	64,651	82,471	71,317	41,790					
	単位あたりコスト ÷		円	9,797	8,679	10,909	9,591	10,911					
	財源	受益者負担分		千円	28,996	28,038	16,004	16,024			13,718		
		国・都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	28,996	28,038	16,004	16,024			13,718		
差引: 一般財源 -		千円	48,810	36,613	66,467	55,293	28,072						
受益者負担比率 ÷		%	37.3	43.4	19.4	22.5	32.8						
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	98.4		活動指標(2)の15年度達成率%			15年度予算執行率%	75.4				
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		高円寺駅の有料制自転車駐車場整備にともなう登録制置場の廃止により、置場整理委託11,000千円、置場管理15,000千円、置場整備4,000千円等が削減された。											

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	駅周辺への自転車乗入れ台数は、平成4年度には1日平均34,942台であったが、平成10年度には26,799台に減少した。その後上昇に転じ、13年度は29,022台、14年度は29,380台、15年度は29,654台である。また、放置自転車台数は平成4年度には1日平均11,946台であったが、平成8年度には6,181台まで減少、その後上昇に転じたが、平成13年度には9,023台、14年度は8,485台、15年度は7,062台と再度減少傾向にある。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	・ 本来、道路である場所を暫定的に自転車置場として利用しているために通行スペースを狭くしており、環境への影響(美観など)もある。・ 距離制限や利用要件による制限をせず、だれでも登録できるようにしてほしい。
	今後の予測	登録制の置場などは本来、道路や公園としての場所を使用しているため、自転車駐車場に適した用地や施設の確保ができたところから登録制自転車置場等は順次廃止し、有料制自転車駐車場にする。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: 有料制自転車駐車場の整備ができていない駅周辺では、道路上等であるとはいえ、放置自転車の抑止に役立っている。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由: 登録制置場の登録審査は、個人情報を扱うため、区で行う必要がある。また、有料制自転車駐車場の整備にともない廃止されていく事業であるため、新たな協働にはなじまない。
	協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^) 協働等の主な形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容)	理由または具体的内容: 登録制置場は、主に道路上に設置されており、平日朝夕の出勤時間帯における自転車整理業務を委託している。
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 登録制置場を増加させる考えはない。放置自転車の撤去作業や放置防止活動など、他の施策により放置自転車の減少をすすめる。
	(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 登録制置場の運営に1台あたり9,590円(H15実績)がかかっているが、登録手数料として4,000円を徴収している。負担割合が低いが、他区・市との均衡や、道路を使用しても道路使用料を徴収することができないことを考えると見直しの余地はない。
	(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 事業経費の大部分を置場整理委託料(約1300万円、16年度)が占めている。これは朝夕の置場整理員の経費である。自転車ラックのない道路上等の置場に収納するためには整理員が必要であり、朝夕の混雑時しか配置していないため、これ以上コストを下げる余地はない。

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄	
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成15年度の登録制置場は7駅に設置していたが(上井草、高円寺、西永福、高井戸、富士見ヶ丘、代田橋、八幡山)、平成16年度から高円寺駅は有料制自転車駐車場へ移行し登録制置場として廃止された。引き続き有料制自転車駐車場へ移行するための用地確保等に努める。			
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 駅周辺で有料制自転車駐車場に適した用地を確保することが困難である。鉄道事業者等の協力を求めていく。			
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし		
	(2) 理由			

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		有料制駐車場運営				整理番号	594		枝番号				
担当部課名		都市整備部交通対策課		コード	221301		連絡先電話番号	3556		昨年度整理番号	618		
係名					自転車対策係					上位施策名		No	
予算事業名					自転車駐車場等維持運営					コード		56250	
					自転車問題の解決							7	
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		6年度		根拠法令等				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律						
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区立自転車駐車場条例						
	有料制自転車駐車場の利用者				(3) 杉並区立自転車駐車場条例施行規則								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)								
(財)自転車駐車場整備センターと(社)杉並区シルバー人材センターに委託して有料制自転車駐車場を運営している。				誰でも利用できる有料制自転車駐車場に自転車を収容し、放置自転車を防止する。									
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標									
(1) 収容可能台数				(1) 自転車放置率(置場外自転車台数 ÷ 駅乗入れ自転車台数 (有料制自転車駐車場の設置駅))									
(2) 平日平均利用率(平日の駐車台数(延べ) ÷ 平日の年間収容可能台数)				(2)									
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%			
					計画	実績		17年度					
指標	活動指標(1)		20,917	20,937	21,947	22,026	25,975						
	活動指標(2)		62.2	67.9		71.3		80	89.1				
	成果指標(1)		32.91	29.86		22.76							
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	508,217	486,696	494,764	488,323	561,146	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 駐車場箇所数 31箇所13駅(10年度末) 32箇所14駅(11年度末) 32箇所14駅(12年度末) 32箇所14駅(13年度末) 33箇所14駅(14年度末) 33箇所14駅(15年度末)				
	(内)委託費		千円	273,354	248,452	250,689	245,162	299,327					
	職員数(正規 非常勤)		人	1.43	1.42	1.30	1.25	1.40					
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	12,989	12,898	11,808	11,243	12,592					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 + +		千円	521,206	499,594	506,572	499,566	573,738					
	単位あたりコスト ÷		円	24,918	23,862	23,082	22,681	22,088					
	財源	受益者負担分		千円	451,171	408,058	408,882	431,704				518,808	
		国・都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	451,171	408,058	408,882	431,704				518,808	
差引:一般財源 -		千円	70,035	91,536	97,690	67,862	54,930						
受益者負担比率 ÷		%	86.6	81.7	80.7	86.4	90.4						
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	100.4	活動指標(2)の15年度達成率%		15年度予算執行率%	98.7	荻窪南第二自転車駐車場の改築を完了し、計画台数を確保した。また、また15年度自動券売機が設置してある4箇所(浜田山南・下井草北第一・方南町東・永福北第三)を巡回管理としたため、委託料を削減した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		<ul style="list-style-type: none"> ・ 15年度永福自北第三自転車駐車場に自動券売機を設置し、駐輪場の管理員は常駐せず巡回管理としたため、委託料を削減できた。 ・ 14年度に使用料金を値下げしたことにより、15年度も引き続き利用率が向上した。 ・ 値下げにより一日使用が増加したため、一日使用券印刷費(需用費)が増加した。 											

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>駅周辺への自転車乗入れ台数は、平成4年度には1日平均34,942台であったが、平成10年度には26,799台に減少した。その後上昇に転じ、13年度には29,022台、14年度は29,380台、15年度は29,660台である。</p> <p>また、放置自転車台数は平成4年度には1日平均11,946台であったが、平成8年度には6,181台まで減少、その後上昇に転じたが、平成13年度には9,023台、平成14年度には8,485台、15年度は7,062台と再度減少傾向にある。</p>
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>・利用率が低く有効活用されていない自転車駐車が多数。・荻窪北口周辺の自転車駐車場は、定期利用の待機者が多く、1日利用も満車で利用できない場合がある。・利用料金が低い。無料置場をつくれ。・休日に管理人がいいため、「無法状態」になっている。</p>
	今後の予測	<p>現在14駅に有料制自転車駐車場を設置している。現在登録制の駅について、用地・施設の確保ができたところから、有料制自転車駐車場に移行していく。また、需要が多いJR中央線沿線駅の自転車駐車場を増やしていく。</p>

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか	<p>理由: 自転車を放置させないためには、その置場を確保する必要がある。誰でも利用できる有料制自転車駐車場を確保することにより、放置自転車防止に貢献している。</p>
	貢献度 大(理由)	<input type="button" value="▼"/>
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は	<p>理由: 鉄道事業者が高架下などに設置した機械式の駐輪場は、立地条件も良いため、利用率が高い。しかし、これらは短時間の買い物客を対象としたものであるため、通勤・通学のための定期契約など、現在の区立駐車場と同様の条件では経営が難しい。</p>
	NPO・企業等と行政がともに主体として実施(へ)	<input type="button" value="▼"/>
	協働等は実現しているか	<p>理由または具体的内容: 鉄道事業者による用地提供や賃貸借契約等により、現在すでに有料制自転車駐車場等を設置している。さらに、駅舎の改築工事をきっかけに附置義務分以上の駐輪場を鉄道事業者が設置してきているところである。しかし、鉄道事業者が単なる協力者としての受動的な立場でなく、行政、商工業団体及び道路管理者との適切な連携のもと、放置自転車問題の解決に主体的に取り組み、自転車駐車場の設置等に積極的に協力する必要がある。</p>
	一部実現している(へ)	<input type="button" value="▼"/>
協働等の相手	<p>理由または具体的内容: 14年4月から自転車撤去手数料の値上げと同時に自転車駐車場使用料を値下げし、それが利用率向上に結びついた。しかし、受益者負担の原則からこれ以上の駐車場使用料引き下げはできないため、街頭指導や撤去活動により駐車場の利用へ誘導することが必要である。</p>	
企業・個人事業者(へ)	<input type="button" value="▼"/>	
協働等の主な形態	<p>また、自転車の乗入れ台数も多く、需要があるJR中央線沿線などに駐輪場を確保する必要がある。16年度は荻窪駅で2ヶ所の駐輪場を新規開設するが、すべての放置台数を収容するためにはさらに駐輪場を設置する必要</p>	
その他(具体的内容)	<input type="button" value="▼"/>	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか	<p>理由または具体的内容: 14年4月から、使用料金を引き下げた(定期は平均6.7%減、一日は150円から100円)。受益者負担比率は低下したが、駐車場の利用率が平成13年度の62.2%から平成15年度は71.3%に向上した点を重視して、当面この料金体系を維持する。</p>	
ある程度できる()	<input type="button" value="▼"/>	
成果向上のための方策	<p>理由または具体的内容: 15年度自動券売機が設置してある4箇所(浜田山南・下井草北第一・方南町東・永福町北第三)で巡回管理としたが、それ以外の駐車場は施設の構造や無人化による危険性が考えられるため、コスト削減の余地はない。</p>	
事業費・活動量の増加(具体的内容)	<input type="button" value="▼"/>	
(4) 受益者負担の見直し余地は	<p>理由または具体的内容: 14年4月から、使用料金を引き下げた(定期は平均6.7%減、一日は150円から100円)。受益者負担比率は低下したが、駐車場の利用率が平成13年度の62.2%から平成15年度は71.3%に向上した点を重視して、当面この料金体系を維持する。</p>	
ない(理由)	<input type="button" value="▼"/>	
(5) コストを下げる余地はあるか	<p>理由または具体的内容: 15年度自動券売機が設置してある4箇所(浜田山南・下井草北第一・方南町東・永福町北第三)で巡回管理としたが、それ以外の駐車場は施設の構造や無人化による危険性が考えられるため、コスト削減の余地はない。</p>	
ない(理由)	<input type="button" value="▼"/>	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄	
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入			
	<p>・16年4月に高円寺駅の登録制を有料化し、荻窪南第二自転車駐車場の改築が完了し、さらに荻窪西第二と荻窪北第三を16年度中に新規開設することにより収容台数の確保を図る。今後は、需要の多いJR中央線沿線を中心に駐車場をさらに増設する。</p> <p>・利用率の低い既存の自転車駐車場を活性化するためには、放置自転車の撤去及び街頭での放置防止指導の強化により、放置自転車を駐車場に入れるよう誘導する。</p>			
17年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法			
	<p>・需要の多いJR中央線には、駐車場を開設する用地や施設の確保が難しい。</p> <p>・放置自転車の撤去及び街頭での放置防止指導の強化のためには、経費がかかる。現に、西荻窪駅では毎日のように街頭指導と撤去を行い、駐輪場の利用率も向上しているが、撤去等に西荻窪駅だけで1,500万円の経費がかかっている。</p>			
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし		
	(2) 理由	<p>14年度から日曜・祝日の管理員の配置をやめて、委託経費の削減をしたが、JR中央線沿線などの駐輪場の需要の高い駅では駐輪場の管理員を配置して、適正な管理を実施し駐車場使用料歳入の確保もはかる。ただし、16年度に荻窪西第二と荻窪北第三の駐輪場が新規開設されるため、管理委託などの経費が増加する。</p>		

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		放置自転車の撤去・返還・処分				整理番号	595		枝番号					
担当部課名		都市整備部交通対策課		コード	221301		連絡先電話番号	3555		昨年度整理番号	619			
係名				自転車対策係				上位施策名		No				
予算事業名				自転車駐車場等維持運営		コード	56250		自転車問題の解決		7			
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		60年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律				(2) 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例			
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(3) 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例施行規則							
	放置自転車及び放置自転車の所有者													
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				放置防止禁止区域内に放置された自転車の撤去、集積所への移送、集積所での保管、所有者への返還、引き取りのない自転車の処分(再利用)。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)				放置自転車を撤去し、放置自転車のない安全で快適なまちをつくる。			
活動指標名(式)						成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 撤去台数						(1) 自転車放置率(置場外自転車台数 ÷ 駅乗入れ自転車台数 (区内全駅周辺))								
(2) 返還台数						(2) 置場外自転車台数(放置台数)								
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%				
					計画	実績		17年度						
指標	活動指標(1)		台	61,871	55,545	60,000	57,114	60,000						
	活動指標(2)		台	42,338	33,589	42,000	34,841	42,000						
	成果指標(1)		%	31.14	28.88		23.81							
	成果指標(2)		台	9,023	8,454		7,056		4,512	156.4				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	121,501	125,579	130,224	125,588	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)						
	(内)委託費		千円	65,460	65,911	73,242	68,879							
	職員数(正規 非常勤)		人	6.00	5.05	5.07	5.32					5.00		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	53,964	45,420	45,600					47,848	44,970	
		非常勤職員分		千円	0	0	0					0	0	
	総事業費 + +		千円	175,465	170,999	175,824	173,436					44,970		
	単位あたりコスト ÷		円	2,836	3,079	2,930	3,037					750		
	財源	受益者負担分		千円	82,294	94,915	92,610					99,357	99,240	
		国・都等からの支出金		千円										
		特定財源計 +		千円	82,294	94,915	92,610					99,357	99,240	
差引: 一般財源 -		千円	93,171	76,084	83,214	74,079	▲ 54,270							
受益者負担比率 ÷		%	46.9	55.5	52.7	57.3	220.7							
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	95.2	活動指標(2)の15年度達成率%	83.0	15年度予算執行率%	96.4	・ 上井草四丁目自転車集積所の開設に伴い、西荻窪駅は街頭指導から撤去、返還業務まで一体で委託することにより、当初予定価格より700万円程度節減できた。					
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			年間約60,000台の台数(都内で上位)を撤去しているが、これだけの撤去活動を行っても駅周辺の放置自転車はなくなっていない。自転車を放置することは悪いことであるという個人の意識がなければ、放置自転車はなくなる。											

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	駅周辺への自転車乗入れ台数は、平成4年度には1日平均34,942台であったが、平成10年度には26,799台に減少した。その後上昇に転じ、13年度は29,022台、14年度は29,380台、15年度は29,654台である。また、放置自転車台数は平成4年度には1日平均11,946台であったが、平成8年度には6,181台まで減少、その後上昇に転じたが、平成13年度には9,023台、14年度は8,485台、15年度は7,062台と再度減少傾向にある。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	・撤去を頻繁に行ってもらいたい。・土曜日、日曜日、平日夕方も撤去してもらいたい。・撤去ばかりされると買い物できない。・迷惑自転車は即時撤去してほしい。・短時間しか置いていなのに撤去された。・店舗駐輪場など民有地の放置自転車も撤去してほしい。・店舗駐輪場など民有地に置いたはずなのに撤去された。・他の自転車はそのままなのに、自分の自転車だけ撤去された。
	今後の予測	年間約60,000台の台数(都内で上位)を撤去しているが、これだけの撤去活動を行っても駅周辺の放置自転車はなくなっていない。自転車を放置することは悪いことであるという個人の意識がなければ、放置自転車はなくなる。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由) ▼	理由: 駅周辺に放置した自転車は撤去されるという意識を区民に持ってもらうことで、放置自転車の抑制になっている部分はある。しかし、撤去されても自転車の放置が悪いことだという意識がなければ、放置自転車はなくなる。撤去の強化とともに、自転車利用のルール・マナーの周知に努めなければならない。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^) ▼	理由: 撤去という公権力を行使することから、区職員による立会・監督の下、民間事業者に委託して作業を行う。
	協働等は実現しているか 一部実現している(^) ▼	理由または具体的内容: 現在、撤去作業は、敷地内か否かの判定が難しいことから、区職員の立会のもとに行っている。また、苦情の多くが、自転車が置かれていた場所(敷地内か否か)、時間(放置か一時駐車か)などの事実関係を争うものであることから、区職員による立会・監督の下、民間事業者に委託して厳格に作業を行う必要がある。
	協働等の相手 企業・個人事業者(^) ▼	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容) ▼	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) ▼	理由または具体的内容: JR中央線沿線の放置自転車が多いため、新たな自転車集積所を確保して、撤去台数を増やす必要がある。駅近くに集積所が確保できれば、返還率も向上する。また、駅ごとに集積所が確保できれば、街頭指導から撤去、返還業務まで一体で委託することができ、成果向上が見込める。	
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由) ▼	理由または具体的内容: 返還・処分や放置防止活動等にかかった経費から算出すると、1台当たり4,110円(昨年度は4,052円)であった。今後、経費と手数料額との大幅な乖離が生じた段階で見直すこととし、当面は現行の手数料額とする。	
(5) コストを下げる余地はあるか ある [民営化・外部委託化] (具体的内容) ▼	理由または具体的内容: 西荻窪駅は街頭指導から撤去、返還業務まで一体で委託することにより、当初予定価格より700万円程度安くできた。 条件が整った駅から一体で委託できれば、この方法をとっていく。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: ○増 ●現状維持 ○減	成果: ●増 ○現状維持 ○減	協働等: ●実施継続 ○推進 ○行政直轄	
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 17年度の目標値(13年度撤去台数の50%減)を目指すため、今以上の撤去活動を行うとともに、放置防止啓発を行う。			
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ・今以上の撤去台数を確保するためには、新たな集積所の確保が必要である。 ・放置防止啓発のために小学校の自転車教室での自転車の「とめ方」の教育や、中学校の体験学習を積極的に受け入れ、この年代からルール・マナーの向上に努める。			
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	○大幅増 ○増 ●増減なし ○減 ○大幅減 ○予算なし		
	(2) 理由	新たな集積所の確保ができない限り費用の増減はない。		

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		放置防止活動			整理番号	596		枝番号		
担当部課名		都市整備部交通対策課		コード	221301		連絡先電話番号	3556		
係名		自転車対策係			上位施策名				No	
予算事業名		自転車駐車場等維持運営		コード	56250		自転車問題の解決	7		
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 60 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律					
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2) 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例					
	駅周辺の放置禁止区域に自転車を乗り入れる利用者				(3) 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例施行規則					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 放置禁止区域の路面ステッカーの貼付、自転車駐車場案内看板等の設置及びその他看板の修理等。 例年10月に10日間「放置自転車クリーンキャンペーン」を実施。ポスターの掲出、駅でのチラシ、ティッシュペーパー等の配布、放置防止指導、撤去作業を行なう。チラシ配付等の啓発活動は、駅周辺の町会、商店会、鉄道事業者とともに進めている。 また、上記のキャンペーンのほか、随時、放置防止キャンペーンを実施し、これにあわせて撤去を強化するなど放置自転車の削減を図っている。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 駅周辺の放置禁止区域を、放置自転車がない状態にする。					
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標						
(1) 路面ステッカーの貼付・自転車駐車場案内看板設置枚数				(1) 自転車放置率(置場外自転車台数 ÷ 駅乗入れ自転車台数 (区内全駅周辺))						
(2) クリーンキャンペーン期間中の撤去台数				(2)						
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値	目標値に対する15年度の達成率%	
					計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)		685	880	550	707	550			
	活動指標(2)		2,251	2,021		1,679				
	成果指標(1)		31.14	28.88		23.81				
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	9,895	6,686	6,125	6,239	7,019	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)委託費		千円	8,598	6,028	5,126	4,228	5,126		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.57	0.52	0.52	0.52	0.50		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	5,127	4,677	4,677	4,677	4,497		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	15,022	11,363	10,802	10,916	11,516		
	単位あたりコスト ÷		円	21,930	12,913	19,640	15,440	20,938		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円						
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0		0
差引:一般財源 -		千円	15,022	11,363	10,802	10,916	11,516			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	128.5	活動指標(2)の15年度達成率%		15年度予算執行率%	101.9			
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		荻窪駅南口周辺の自転車駐車場のオープンとあわせて、放置防止キャンペーンを実施するとともに放置自転車の集中撤去を実施した。また、新たに自転車駐車場案内用の立て看板を作成し、放置が多い場所に設置した。 その他の阿佐ヶ谷駅を含む延べ14駅で放置防止キャンペーンを実施するとともに撤去の強化を図った。 平成16年度は、警告札やチラシ、その他啓発用品を活用して、自転車放置防止及び駐車場の案内を充実させるための費用を増額した。								

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	駅周辺への自転車乗入れ台数は、平成4年度には1日平均34,942台であったが、平成10年度には26,799台に減少した。その後上昇に転じ、13年度は29,022台、14年度は29,380台、15年度は29,654台である。また、放置自転車台数は平成4年度には1日平均11,946台であったが、平成8年度には6,181台まで減少、その後上昇に転じたが、平成13年度には9,023台、14年度は8,485台、15年度は7,062台と再度減少傾向にある。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	<ul style="list-style-type: none"> ・放置禁止区域の表示がわからなかったので自転車を放置した。 ・自転車駐車場の案内が不足している。 ・ロープなどで放置できないようにしてほしい。 ・私道だが放置自転車を撤去してもらいたい。
	今後の予測	放置禁止区域は、随時、見直しが必要である。その際に案内看板の新たな設置(修正を含む)が必要となる。看板の落書き等も多く維持補修も必要である。また、路面ステッカーは劣化のため表示が薄くなる。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか	理由または具体的内容: 放置禁止区域であることや、自転車を放置することは条例に違反することを周知するためにも、看板や路面ステッカー、クリーンキャンペーンは必要である。
	貢献度 大(理由)	
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は	
	行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	
	協働等は実現しているか	
	一部実現している(^)	
協働等の相手	理由または具体的内容: 放置防止キャンペーンは、駅周辺の地域の方々に広く参加を呼びかけ実施している。参加者としては、商店会や町会・自治会を母体とした放置防止協力員 商店会 町会・自治会 小中学生 鉄道事業者 警察 交通安全協会 区などである。	
NPO・ボランティア・市民活動団体(^)		
協働等の主な形態		
その他(具体的内容)		
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか		
ある程度できる()	理由または具体的内容: 放置防止キャンペーンを実施するとともに撤去を強化していくことで、放置自転車を減らし、自転車駐車場へ誘導する。あわせて、自転車駐車場に誘導するために、案内看板を工夫し、1枚単価を下げ、数を増やしていく。劣化した路面ステッカーの張替えは、原則、駅別に年度計画による。年度計画外の駅については、撤去などの際に随時張り替える。	
成果向上のための方策		
手段・方法の変更(具体的内容)		
(4) 受益者負担の見直し余地は		
ない(理由)		理由または具体的内容: 看板や路面ステッカーは、広く区民等に放置自転車の防止を呼びかけるための方策であるため、特定の対象者による受益者負担は考えていない。
(5) コストを下げる余地はあるか		
ない(理由)	理由または具体的内容: 安価な路面ステッカーにすると破損が激しいことや看板については一定の強度が必要なため、現状のもので継続しなければならない。また、補修等にも対応しなければならない。全体的なコストの削減にはならないが、一部の立て看板については、(記載内容の変更に対応するため)簡易なタイプのものに変えることで1枚単価を下げ、数での充実を図っている。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄	
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 放置禁止区域や条例内容を示すだけでなく、放置防止を訴えるデザインにすることや、自転車駐車場への誘導のための看板等の設置箇所を増やすことで、成果が期待できる。しかし、区内には隣接する駅を含めて25駅あるため、年次計画を作成し実施にあたるものとする。 また、それぞれの地域の方や事業者の方々の協力を得て、放置防止キャンペーンを実施するなど自転車の放置を防止するために、地域(各駅)での基礎づくりをする。			
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 新たな看板等の設置には、街なみの景観との調和や、道路管理者との協議・承認が必要である。			
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし		
	(2) 理由	16年度の予算の範囲において、17年度も創意工夫しながら事業を実施する。		

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		放置防止指導員・協力員				整理番号	597		枝番号		
担当部課名		都市整備部交通対策課		コード	221301		連絡先電話番号	3554		昨年度整理番号	621
係名 自転車対策係				上位施策名				No			
予算事業名 自転車駐車場等維持運営				コード	56250		自転車問題の解決				7
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 6年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 駅周辺に乗入れる自転車利用者				(2) 杉並区自転車放置防止協力員要綱						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 民間企業に委託して、放置自転車を防止するための呼びかけ、自転車駐車場等への案内・誘導のための放置防止指導員を配置している。また、駅周辺の商店会等の会員を放置防止協力員として委嘱し、放置自転車の防止のために活動してもらっている。区は、ボランティア保険料、活動被服を負担している。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 自転車利用者が、自転車を放置しないようにする。						
	活動指標名(式) (1) 放置防止指導員延人数 (2) 放置防止協力員活動駅数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 自転車放置率(置場外自転車台数 - 駅乗入れ自転車台数) (区内全駅周辺) 自転車放置率(置場外自転車台数 - 駅乗入れ自転車台数) (協力員配置駅周辺)						
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%	
					計画	実績		19年度			
指標	活動指標(1)		人	4,101	4,602	4,854	5,102	7,040			
	活動指標(2)		駅	4	10	10	15	15	16	93.8	
	成果指標(1)		%	31.14	28.88		23.81				
	成果指標(2)		%	27.70	29.17		24.27				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	26,514	25,948	30,337	30,678	29,869	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円	26,372	25,433	29,169	29,132	29,169			
	職員数(正規 非常勤)		人	1.86	1.80	1.95	2.19	1.80			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	16,729	16,189	17,538	19,697	16,189			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	43,243	42,137	47,875	50,375	46,058			
	単位あたりコスト ÷		円	10,545	9,156	9,863	9,874	6,542			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	43,243	42,137	47,875	50,375	46,058				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	105.1	活動指標(2)の15年度達成率%	150.0	15年度予算執行率%	101.1			
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			・放置防止指導員は、1~2名を駅周辺に配置しても効果的でないため、放置の多いJR中央線の各駅に集中的に配置し効果を上げた。 ・駅周辺の町会や商店会に働きかけ、14年度までの10駅に加え、15年度は高円寺南口、下井草、中野富士見町、南阿佐ヶ谷、浜田山、荻窪南の各駅に協力員組織が立上がり、15駅16団体350名の協力員になった。								

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	駅周辺への自転車乗入れ台数は、平成4年度には1日平均34,942台であったが、平成10年度には26,799台に減少した。その後上昇に転じ、13年度は29,022台、14年度は29,380台、15年度は29,654台である。また、放置自転車台数は平成4年度には1日平均11,946台であったが、平成8年度には6,181台まで減少、その後上昇に転じたが、平成13年度には9,023台、14年度は8,485台、15年度は7,062台と再度減少傾向にある。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	・放置防止指導員を増員して毎日配置してほしい。 ・指導員から高圧的に注意された。 ・指導員はただ立っているだけで何もしていない。 ・地元の住民や事業者が協力しないと放置自転車問題は解決しない。
	今後の予測	JR阿佐谷駅では、15年4月から毎日放置防止指導員を配置している。14年度の年間平均放置台数が1,528台、15年度の年間平均放置台数が817台と効果がみられる。放置防止のために人を配置することで、放置自転車の抑制になる。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか	理由：指導員や協力員に注意されることで、自転車の放置を思いとどまる利用者もいるため、放置自転車をなくすためにはある程度有効な手段である。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は	理由：駅利用の自転車利用者が放置しないために指導員を配置している。駅利用者が自転車を利用していることから、鉄道事業者が放置防止指導員を配置することも必要である。
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか	理由または具体的内容：指導員数を増員し、JR中央線に限らず放置防止指導員を配置すれば効果がある。地域住民が放置防止協力員となって活動することが活発になれば、放置防止指導員の配置は少なくてすむ。しかし、協力員は店主や町会役員が主体であるため、一日中活動することは不可能である。
	(4) 受益者負担の見直し余地は	理由または具体的内容：広く駅周辺に自転車を乗入れる利用者を対象にしているため、特定の個人に負担を求めることはできない。
	(5) コストを下げる余地はあるか	理由または具体的内容：地域住民が放置防止協力員となって活動することが活発になれば、放置防止指導員の配置は少なくてすむ。

今後の事業のあり方(中長期)	コスト： <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 成果： <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 協働等： <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・阿佐ヶ谷駅の事例のように放置防止指導員を増員し、各駅に十分な人員を配置すれば、放置台数は減少する。今後も財政面を考慮しながら配置数を増やしていく。 ・久我山駅のように協力員が毎日のように活動している駅では、放置台数が減少する。協力員の活動駅を増やすとともに、既存の協力員組織の活性化を図る。
17年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ・指導員を今以上に配置するには、財源措置が必要である。 ・荻窪駅北口のように駐車場が満車状態の駅では、徹底した指導が難しい。自転車駐車場の確保が必要である。
	(1) 17年度予算見積りの方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし (2) 理由 ・放置防止協力員の活動駅の増加に伴い、ボランティア保険や警告札などの経費が増加する。

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		民営自転車駐車場育成補助				整理番号	598		枝番号			
担当部課名		都市整備部交通対策課		コード	221301		連絡先電話番号	3558		昨年度整理番号	622	
係名					自転車対策係			上位施策名		No		
予算事業名					自転車駐車場等維持運営		コード	56250		自転車問題の解決		
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		60		年度			
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例 (2) 杉並区民営自転車駐車場育成補助金交付要綱 (3)					
	区の補助を受けて民営自転車駐車場を設置した者・団体											
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				区の補助を受けて民営自転車駐車場を設置した者・団体に対して、その運営経費の一部を3年間補助する。							
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 助成件数				(1) 自転車駐車場の維持費の削減								
(2) 助成台数				(2)								
区分	単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%			
				計画	実績		年度					
指標	活動指標(1)	件	1	0	1	0	1					
	活動指標(2)	台	173	0	100	0	150					
	成果指標(1)	千円	1,630	0	1,679	0	4,531					
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	680	0	3,500	0	3,110	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 成果指標(1)の算出方法 区が直営で駐車場を建設、管理運営した場合のコスト 民営駐車場を設置し運営される方への補助金 計算式 -			
	(内)委託費		千円									
	職員数(正規 非常勤)		人	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	2,698	0	2,698	0	2,698				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	3,378	0	6,198	0	5,808				
	単位あたりコスト ÷		円	3,378,000		6,198,000		5,808,000				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	3,378	0	6,198	0	5,808					
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0					
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	0.0	活動指標(2)の15年度達成率%	0.0	15年度予算執行率%	0.0	西荻窪駅北口の民営自転車駐車場建設に対し、補助金の交付を予定していたが、建設計画が撤回されたため未執行となった。				
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)												

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	これまでに補助金を交付した民営自転車駐車場は、南阿佐ヶ谷の1件のみ。15年度に阿佐ヶ谷駅南口に設置された民営自転車駐車場は補助金交付の対象とならなかったが、駅から至近距離にあり、駐輪の需要が多い場所のため、利用率が非常に高く、十分採算がとれているとのこと。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	補助金の増額についての要望がある。
	今後の予測	上記の阿佐ヶ谷駅南口のように、立地条件が良く、駐輪の需要が多い場所であれば、十分経営的に成り立つ可能性があるため、今後民間の参入も増えていくと思われる。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 区が直営で自転車駐車場を整備する場合と比べると、後年度の維持経費が削減できる。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は NPO・企業等が主体、場合により行政が協力(^)	理由:
	協働等は実現しているか 一部実現している(^)	理由または具体的内容: 上記の2箇所の民営自転車駐車場については、それぞれの駅周辺の放置自転車対策に十分貢献している。
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 その他(具体的内容)	
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 民営自転車駐車場は採算がとりにくいため、設置・運営に対しては補助が必要である。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 実効性が薄れるので、補助金の金額を下げることはできない。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 民間活力を導入するために今後も民営自転車駐車場育成補助制度は存続させる。民間の自転車駐車場建設を促進し、設置者から魅力ある補助制度とするために、補助率の改定や限度額の撤廃等について検討する必要がある。						
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 民間が行う駐輪場が経営的に成り立つか否かは、立地条件等が大きな要素を占めるため、駐輪場を建設するか否かは土地所有者の意向に委ねられる。また、区立自転車駐車場の使用料金を平成14年4月から値下げしたため、民間の参入を阻害している方向にある。魅力ある補助制度とするために、補助金の増額を図る必要がある。						
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input checked="" type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 平成14年度以前は、相談件数もあまりなかったが、平成15年度末より駐輪場設置計画の相談が増えてきているので、予算の増額を図る必要がある。						

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		自転車等駐車対策協議会				整理番号	599		枝番号						
担当部課名		都市整備部交通対策課		コード	221301		連絡先電話番号	3555		昨年度整理番号	623				
係名				自転車対策係				上位施策名		No					
予算事業名				自転車駐車場等維持運営		コード	56250		自転車問題の解決		7				
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成				7年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業								
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律										
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(2) 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例										
	自転車等駐車対策協議会委員(区民、区議会議員、学識経験者、鉄道事業者、関係行政機関の職員)				(3)										
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順) 自転車等の駐車対策に関する重要事項を調査審議する。				事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか) 自転車等の駐車対策に関する重要事項を調査審議する。										
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標											
(1) 協議会開催回数				(1) 自転車放置率(置場外自転車台数÷駅乗入れ自転車台数(区内全駅周辺))											
(2)				(2)											
区分		単位	13年度実績		14年度実績		15年度		16年度		目標値	目標値に対する15年度の達成率%			
							計画	実績	計画		年度				
指標	活動指標(1)			2		1		2		1		2			
	活動指標(2)														
	成果指標(1)			31.14		28.88				23.81					
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	312		132		392		180		392		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)委託費		千円												
	職員数(正規 非常勤)		人	0.14		0.52		0.52		0.52		0.60			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	1,259		4,677		4,677		4,677		5,396		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0		
	総事業費 ++		千円	1,571		4,809		5,069		4,857		5,788			
	単位あたりコスト ÷		円	785,500		4,809,000		2,534,500		4,857,000		2,894,000			
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円											
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0		
差引:一般財源 -		千円	1,571		4,809		5,069		4,857		5,788				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%		50.0		活動指標(2)の15年度達成率%				15年度予算執行率%		45.9		
			特に急を要する付議案件がなかったため、2回目の開催を見送ったことによる。												
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)															

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	本協議会の答申により、平成10年2月に「杉並区自転車利用総合計画」が策定され、主たる目的は達成された。今後は、総合計画の推進、重要事項の調査審議を行っていく。また、豊島区「放置自転車対策推進税」に関し、国(総務大臣)は、協議会において鉄道事業者と具体的な協議を進めることを求めた。具体的な協議を進める場として、協議会の重要性が増してきている。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	特になし
	今後の予測	駐車対策に限らず、自転車に関する事項全般について諸問題を諮り、意見をいただく。この協議会には鉄道事業者も委員となっているため、鉄道事業者の協力を得ていくためにも、この協議会は存続する。協議会において、より具体的な課題を協議していくことになる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由:関係者らに幅広い意見を求め、施策を展開していくためには、協議会は必要である。 特に鉄道事業者との意見交換の場としても、必要と考える。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が自ら実施(理由)	理由:自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律に基づく協議会であり、設置主体は区である。
	協働等は実現しているか 協働等の相手 協働等の主な形態	理由または具体的内容:
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容:協議会には、その時々自転車対策に係る課題を諮り、審議している。そこで出された意見をもとにして、区が各種の施策を実行する。
	(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:協議会は、区長の諮問機関として設置されたものであり、受益者負担の考えはない。
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:協議会の事業費は、主に委員報酬であり、また、従事職員も必要最低限に抑えているため、コストを下げる余地はない。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄	
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入			
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性			<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 協議会は、鉄道事業者との公式の協議の場であり、重要度が増している。また、現在の杉並区サイクルアクションプログラムの数値目標は、平成17年度末までのため、平成17年度に平成18年度～平成22年度の数値目標設定などの検討を行う。このため、分科会などの開催回数増を予定しており、報償費増の見込みである。			

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		(仮称)高円寺北及び高円寺東高架下自転車駐車場建設				整理番号	600		枝番号	624		
担当部課名		都市整備部交通対策課		コード	221301		連絡先電話番号	3558		昨年度整理番号	624	
係名 自転車対策係				上位施策名				No				
予算事業名 自転車駐車場等整備				コード	56500		自転車問題の解決				7	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 12年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2) 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) (高円寺北)2500台規模収容の自転車駐車場を整備する。 平成13・14年度用地取得、平成14・15年度工事。 (高円寺東高架下)平成14・15年度工事。				(3) 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例施行規則							
	活動指標名(式)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 自転車の駐車スペースを確保することにより、自転車利用者が放置しない環境を整える。							
(1) 整備台数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 置場外自転車台数 ÷ 駅乗り入れ自転車台数 (高円寺駅周辺)								
(2)				(2)								
区分	単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%			
				計画	実績		15年度					
指標	活動指標(1)	台			3,000	2,965	0	3,000	98.8			
	活動指標(2)											
	成果指標(1)	%	28.60	25.29		26.32						
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	546,083	647,803	256,141	245,836	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 15年度の成果指標については、15年度の平均値で算出している。自転車駐車場の開設は、平成16年4月1日なので、実質的な効果は16年度以降に表れてくると思われる。				
	(内)委託費		千円	7,777	140,901	254,359	242,655					
	職員数(正規 非常勤)		人	1.20	1.40	1.20	1.25					
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	10,793	12,592	10,793	11,243				0	
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0				0	
	総事業費 + +		千円	556,876	660,395	266,934	257,079				0	
	単位あたりコスト ÷		円			88,978	86,705					
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円	123,000	212,250	110,000				110,000	
		特定財源計 +		千円	123,000	212,250	110,000				110,000	0
差引:一般財源 -		千円	433,876	448,145	156,934	147,079	0					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0						
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	98.8		活動指標(2)の15年度達成率%			15年度予算執行率%	96.0			
		計画どおり、工事竣工。										
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		なし。										

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	自転車駐車場需要に変化はない。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	特になし。
	今後の予測	今後、引き続き自転車駐車場需要に変化はないと予測される。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 自転車駐車場の整備は放置自転車対策に不可欠である。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由:
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容: 区が自転車駐車場の整備主体として工事を企業に発注し、企業が工事を請負い、施工している。
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	理由または具体的内容: 放置自転車撤去活動及び放置防止啓発活動との一体的な取り組みが必要である。	
成果向上のための方策		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 自転車駐車場の整備に関しては、受益者負担の考えはない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 必要最小限の人員及び予算で執行しているため、コストを下げる余地はない。	

今後の事業のあり方 (中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 15年度終了事業。						
17年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法						
	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input checked="" type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 15年度終了事業。						

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		荻窪南第二自転車駐車場改築				整理番号	601		枝番号	625			
担当部課名		都市整備部交通対策課		コード	221301		連絡先電話番号	3558		昨年度整理番号	625		
係名 自転車対策係				上位施策名				No					
予算事業名 自転車駐車場等整備				コード	56500		自転車問題の解決				7		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 13 年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業								
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律								
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2) 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 1150台規模収容の自転車駐車場を整備する。平成13・14・15年度工事。				(3) 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例施行規則								
	活動指標名(式) (1) 整備台数 (2)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 自転車の駐車スペースを確保することにより、自転車利用者が放置しない環境を整える。 成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 置場外自転車台数 ÷ 駅乗り入れ自転車台数 (荻窪駅南口周辺) (2)								
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値	目標値に対する15年度の達成率%				
					計画	実績		15年度					
指標	活動指標(1)				1,150	1,150		1,150	100.0				
	活動指標(2)												
	成果指標(1)		%	28.57	20.07		17.07						
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	200,634	120,489	386,716	385,390	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 15年度の成果指標については、15年度の平均値で算出している。自転車駐車場の開設は、平成16年3月1日なので、実質的な効果は16年度以降に表れてくると思われる。					
	(内)委託費		千円	176,320	108,052	383,825	382,852						
	職員数(正規 非常勤)		人	0.60	0.40	0.30	0.31						
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	5,396	3,598	2,698	2,788					0	
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0					0	
	総事業費 + +		千円	206,030	124,087	389,414	388,178					0	
	単位あたりコスト ÷		円			338,621	337,546						
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0	0	0					0	0
差引:一般財源 -		千円	206,030	124,087	389,414	388,178	0						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0							
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	100.0	活動指標(2)の15年度達成率%		15年度予算執行率%	99.7					
			計画どおり、工事竣工。										
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			なし。										

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	自転車駐車場需要に変化はない。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	特になし。
	今後の予測	今後、引き続き自転車駐車場需要に変化はないと予測される。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 自転車駐車場の整備は放置自転車対策に不可欠である。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由:
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容: 区が自転車駐車場の整備主体として工事を企業に発注し、企業が工事を請負い、施工している。
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	理由または具体的内容: 放置自転車撤去活動及び放置防止啓発活動との一体的な取り組みが必要である。	
成果向上のための方策		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 自転車駐車場の整備に関しては、受益者負担の考えはない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 必要最小限の人員及び予算で執行しているため、コストを下げる余地はない。	

今後の事業のあり方 (中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 15年度終了事業。						
17年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法						
	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input checked="" type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 15年度終了事業。							

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		下井草北第二自転車駐車場拡張				整理番号	606		枝番号			
担当部課名		都市整備部交通対策課		コード	221301		連絡先電話番号	3558		昨年度整理番号	631	
係名					自転車対策係			上位施策名		No		
予算事業名					自転車駐車場等整備			コード		56500		
					自転車問題の解決					7		
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		14年度		根拠法令等			
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律 (2) 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例 (3) 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例施行規則			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				平成14年度用地取得、平成15年度工事。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 自転車の駐車スペースを確保することにより、自転車利用者が放置しない環境を整える。			
	活動指標名(式)				(1) 整備台数		(2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 置場外自転車台数 ÷ 駅乗り入れ自転車台数 (下井草駅周辺) (2)			
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度		目標値		目標値に対する15年度の達成率%	
					計画	実績	計画		15年度			
指標	活動指標(1)		台			130	122	0		130	93.8	
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		%	46.94	51.16		39.81					
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円		71,955	8,013	5,141			特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円			8,000	5,129					
	職員数(正規 非常勤)		人		0.15	0.30	0.31					
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	1,349	2,698	2,788	0			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	0	73,304	10,711	7,929	0				
	単位あたりコスト ÷		円			82,392	64,992					
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引: 一般財源 -		千円	0	73,304	10,711	7,929	0					
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0						
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	93.8	活動指標(2)の15年度達成率%		15年度予算執行率%	64.2				
			計画どおり、工事竣工。									
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			なし。									

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	自転車駐車場需要に変化はない。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	特になし。
	今後の予測	今後、引き続き自転車駐車場需要に変化はないと予測される。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 自転車駐車場の整備は放置自転車対策に不可欠である。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由:
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容: 区が自転車駐車場の整備主体として工事を企業に発注し、企業が工事を請負い、施工している。
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	理由または具体的内容: 放置自転車撤去活動及び放置防止啓発活動との一体的な取り組みが必要である。	
成果向上のための方策		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 自転車駐車場の整備に関しては、受益者負担の考えはない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 必要最小限の人員及び予算で執行しているため、コストを下げる余地はない。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄	
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 15年度終了事業。			
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性			<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input checked="" type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 15年度終了事業。			